

江差町立南が丘小学校



かけはし



【本年度の重点教育目標】

『学習したことをもとに考え、自ら実行できる子どもの育成』

〔笑顔・信頼〕〔学び合い・高め合い〕〔習慣・継続〕

TEL0139-52-0524 FAX0139-52-5489

冬期間の体力向上

南が丘小学校長 安田 善紀

令和7年を迎え、南が丘小学校の児童・職員全員元気で3学期の始業式に顔を合わすことができました。健康第一です。今年一年元気に過ごせるよう祈念し、皆様も御自愛ください、あわせて本校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

さて、子どもたちは、3学期の目標として「学習のまとめ」の他に、スキー学習を頑張りたいとあげる子が多かったです。2～6年生はスキー授業を上ノ国町湯ノ岱スキー場で複数回（6年生は最終回のみグリーンピア大沼スキー場で）行います。また、町教委で実施するスキー教室に通った子もあり、冬期間の運動不足には欠かせない活動です。

喫緊の学校課題として、メディアの利用の多さや運動不足があげられます。積雪寒冷地に住む上での課題ですが、逆転の発想で雪国ならではの体験を楽しめればと考えます。

スキー普及についてトリビア。以前倶知安町を訪れた際、北海道スキー発祥の記念碑レルヒ中佐記念碑を見学しました。日本スキーの発祥は、1911（明治44）年1月12日（後のスキーの日）、オーストリア・ハンガリー帝国の軍人のレルヒ少佐（当時）による、新潟県上越市でのスキー技術指導が始まりとされています。翌年、レルヒ少佐は北海道旭川を訪問し旧第7師団の将校や民間研究員に旭川やニセコで指導を行いました。写真の通り当時はオーストリア式の一本杖でしたが、同時期にノルウェー式の2本杖が北海道に普及しており、1923（大正12年）に開催された第1回全日本スキー選手権大会では、2本杖が1本杖を圧倒して、以後2本杖が主流になったそうです。

と、スキーが普及して百年が経過しましたが、冬期間の体力向上のねらいは、今も昔も変わらないようです。



#### ベルマーク運動のご協力をお願い

2月18日にPTA研修委員会でベルマーク作業を予定しています。もし、お家にベルマークがありましたら、学校にご提供お願いいたします。お待ちしております。





始業式で校長の話を聞く子どもたち。

## 気持ち新たに3学期スタート

1月20日、始業式を行いました。校長から、「はっきり言葉で伝えよう」「感染予防をしっかりとしよう」「助け合って感謝を忘れず伝えよう」「読書をしよう・家庭学習で考える力をつけよう」などのお話があり、子どもたちがしっかりと話を聞いている姿が印象的でした。3学期は45日間(6年生は42日間)しかありません。6年生は卒業に向けてのカウントダウンが始まりました。他の学年の子どもたちも次の学年に向けて、今大切な時です。1日1日を大切に過ごしてほしいです。

## 冬ならではの経験

### ～ スキー学習始まる ～

「スキー場に雪あるの?大丈夫?」との心配の声もありましたが、約30分バスに乗るとそこは一面の雪景色。ちょうどよい具合に雪があり、子どもたちは雪の感触を味わいながらスキーを楽しむことができました。

スキー学習では、子どもたちは能力毎のグループに分かれ練習しました。約2時間の学習の中で、初めてロープトウに乗れた子ども、初めて転ばないで上から下まで滑れた子ども、初めてスピードに乗って曲がれた子ども等、たくさんの「初めてできた!」瞬間を見ることができました。2月にもスキー学習を行います。自分なりの「できた!」を積み重ねて、自信にしてほしいです。また、6年生はグリーンピア大沼へスキー遠足に行きます。スキー学習を通して安全に楽しむための技術を身につけて、楽しい遠足にする予定です。今回のスキー学習にあたって、「江差スキークラブ」から2名の講師の方に来ていただいています。丁寧なご指導のおかげで、上達しています。ご協力感謝申し上げます。



はじめてのスキー学習に挑戦する2年生。



学習前の4～6年生の子どもたち。この日はいいお天気でした。



情報を伝え合っている子どもたち。

## 分かりやすく伝えるには?

### ～フレンズ班で学ぶ～

4～6年生以上のフレンズ班(縦割り班)で、コミュニケーションについて学ぶ「フレンズサポート学習」を行いました。異学年の子どもどうして、与えられた課題をもとに一緒に考えたり、伝え合ったりしました。子どもたちは一方的な情報伝達と、双方向の伝達の違いを体験して、改めてコミュニケーションの大切さを感じたようです。自分の思いはしっかり伝えられるようになりたいですね。